

## 三菱ロジスネクスト株式会社

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1

[www.logisnext.com](http://www.logisnext.com)



QRコードの読み取り機能に対応した  
スマートフォンをお持ちの方は、  
当社ウェブサイトへ簡単にアクセスできます。

7000/2206

### Company Profile

# Logisnext

*Logistical Equipment & System Solutions Next*

三菱ロジスネクスト株式会社

# 変化する世界に、 進化した物流を。

高速ネット通信やモバイルデバイスの普及とともにeコマース市場が広がり、あらゆるモノがワンクリックで届く時代。すべてのプロセスがネットワークでつながり、さらなる複雑化が進んでいます。そして物流を取り巻く環境は今までにないスピードとダイナミズムで大きく変貌しています。

「今、物流は転換期にある」。

三菱ロジスネクストは、この変化に先進的な製品と革新的ソリューションで立ち向かいます。物流をより簡単に、より効率的にすることで、さらに滑らかにモノが流れるように。私たちはお客様のニーズに応え、未来創りに貢献することを目指して、進化した物流を提供し続けてまいります。



## Message

# 世界でビジネスを展開する グローバルプレイヤーとして最前線で物流の課題に挑む。

“高品質な物流の要求”、“配送の小口化・細分化・迅速化”、“物流に携わる労働人口の減少”など…。世界の物流が抱えるこれらの課題を解決するため、私たち「三菱ロジスネクスト」は全世界に向けて人への負荷を軽減する安全・安心な物流機器を提供しています。さらに、グローバルに展開する直販機能を駆使して各国のお客様のニーズをくみ取りながら、私たちが保有する独自の自動化技術を組み合わせた最適な物流ソリューションの提案に総力をあげて取り組んでいます。

昔も今も、物流は人間の生活に欠かせないもの。しかし、その中身は刻々と変化しており、求められるものも時代時代で変わっていきます。私たち「三菱ロジスネクスト」は、源流となる日本の物流機器メーカー4社を核として、その他世界中のパートナーと統合・協業しながら今に至るまで変化と成長を続けてきました。設立からこれまで、その時々の中の変化に合わせて、国内外の企業とM&Aや業務提携、さまざまなアライアンスを結び、互いの能力、文化、マネジメントを尊重し合い、

各社の強みを取り込みながら成長してきたDNAを持っています。この歴史と経験、生み出された企業カルチャーは、当社の財産であり最大の強みです。これらを今の時代に合わせてさらに進化・発展させながら、これからも私たち「三菱ロジスネクスト」は、世界の物流シーンに生まれる課題にタイムリーかつスピーディに対応し、グローバルの最前線で常にお客様にとって最適な機器とソリューションを提供していきます。

代表取締役社長 間野 裕一

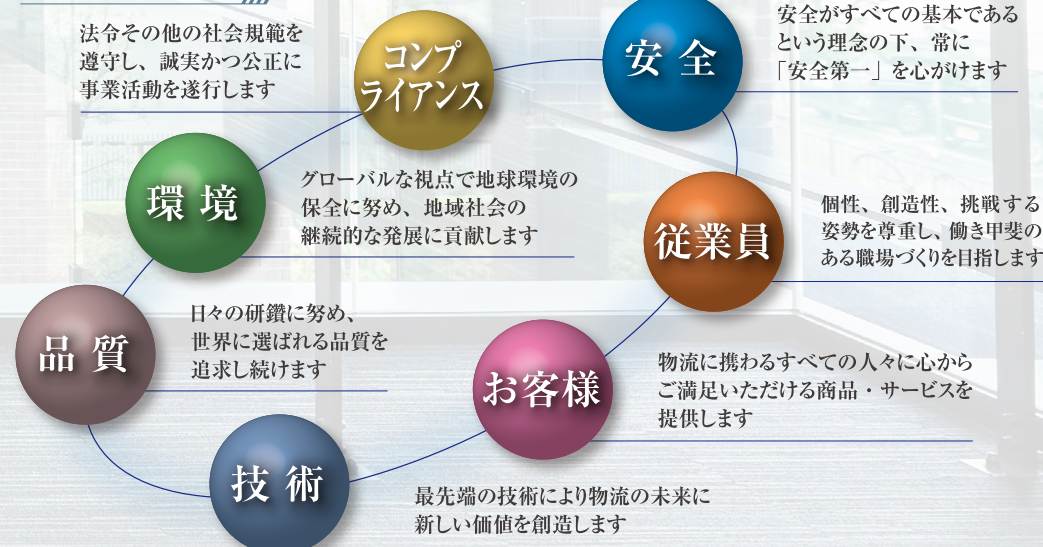
## 企業理念

# Logisnext

Logistical Equipment & System Solutions Next

世界のあらゆる物流シーンで、  
お客様にソリューションを提供し続け、  
未来創りに貢献する

## 経営方針



「Logisnext」は、“Logistical Equipment & System Solutions Next”を  
組み合わせて作ったコーポレートブランドです。

## Fields

# 機器とシステムを有機的に組み合わせ、 物流のあらゆるシーンを支えています。

物流倉庫で、製造工場で、港湾や市場で、あらゆる現場で活躍する三菱ロジスネクスト。

現場のニーズに応える製品のご提供のみにとどまらず、

システムと組み合わせた最適なソリューションで、お客様の物流課題を解決します。

## あらゆるモノをあらゆる場所へ「運ぶ」をサポートする。

保管倉庫や低温の冷蔵庫といった屋内、また工場間や港湾などの屋外と、さまざまな現場環境において、多種多様なモノの安全と、効率的な搬送をサポートします。



自動搬送車「ムジーカー」



リーチ型バッテリーフォークリフト「プラッター」

レーザー誘導方式無人フォークリフト  
「プラッターオート」

搬送  
Transport

保管  
Storage

管理  
Management

## 空間と時間の効率化で 「生産性向上」につなげる。

入出庫頻度を考慮したロケーション管理  
やルーチン作業の自動化を含めた業務プ  
ロセスの改善など、空間の効率的利用だ  
けでなく、時間の効率化にも貢献します。



コンテナ荷役車両「トランスファークレーン」



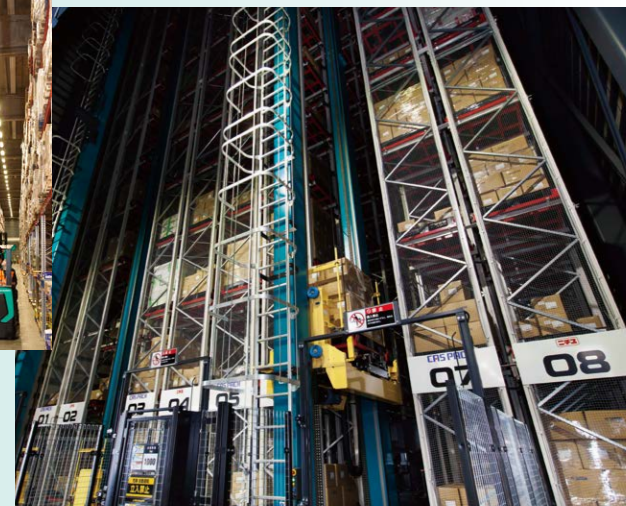
ピッキングリフト「ピッカーエース」



三方向荷役フォークリフト「ラックフォーク」



欧州モデルリーチ型  
フォークリフト「SENSIA」



自動倉庫「キャスバック」

## 「見える化」をキーワードに 物流現場を支え、 経営に貢献する。

商品の保管情報や、フォークリフトの  
稼働状況など、現場のさまざまな情  
報をリアルタイムに把握し、作業の効  
率化と安全性の向上につなげます。



倉庫管理システム「ロジナビ」



フォークリフト  
稼働管理システム「LVS」



LVS連動ドライブレコーダー



全周囲モニターシステム「グッドビューア」

後方警告ブルーライト

## Features

# 設計・開発からサービスまで 一貫した体制で 物流の未来に貢献します。

今よりも、スムーズに、安全に、便利に。

総合物流機器メーカーとして、期待を越える価値を提供。

お客様のビジネスの発展、社会の進展に寄与します。

## グローバルな生産体制で 最適SCM※を推進。

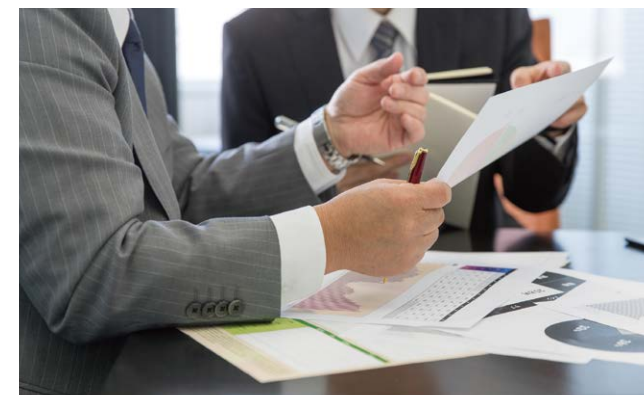
三菱ロジスネクストでは、日本、北米、欧州、アジア、中国の5つの地域において生産拠点を展開。グローバルな観点から最適なSCM※を進め、世界各国・各地域のお客様に最適な製品をタイムリーに提供しています。

※SCM：サプライチェーンマネジメント



## お客様の課題を解決する 「現場密着」の提案力。

三菱ロジスネクストの強みはあらゆる物流現場のニーズに応える豊富な製品群だけではありません。時にはお客様ご自身も見落としている現場の課題を発見し、お客様とともに改善策を見つけ出す提案力も私たちの強みです。機器やシステムのみならず、お客様にメリットをもたらすパフォーマンスで新たな価値を提供しています。



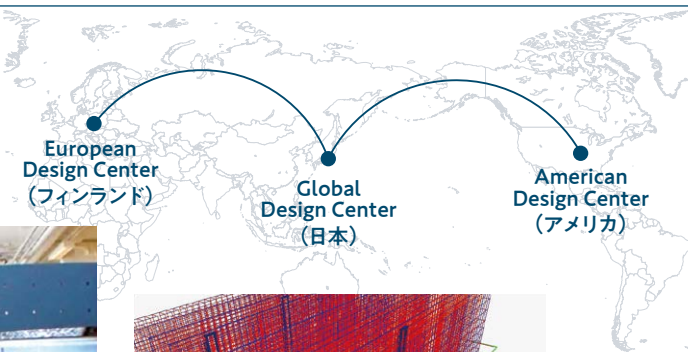
設計・開発  
Design &  
Development

生産  
Production

品質管理  
Quality Control

販売  
Sales

サービス  
Service



## マーケットイン発想で、 市場ニーズを反映した製品を開発。

お客様視点によるマーケットイン発想で、各地域のニーズに応えられる世界3極の開発体制を構築。eコマースの進展やそれを支える物流現場に広がる自動化・効率化へのニーズなどで変化する市場のトレンド、国・地域によって異なる仕様要求、環境対応等を反映した製品開発をおこなっています。



無響室での騒音試験



## 全工程で厳しい品質管理を実施し、 信頼性の高い製品づくりを徹底。

三菱ロジスネクストは、製品の企画から開発・生産、さらには販売・アフターサービスにいたるまで、各部門が常に連携を図りながら品質管理をおこない、お客様に安心してお使いいただける製品づくりに努めています。特に開発・生産プロセスにおいては、一つひとつのステップごとに厳しい品質チェックを徹底しています。



## グローバルに展開するネットワークで 迅速なアフターサービスを提供。

製品をご購入いただいた後もお客様のご要望に素早く対応できるよう、国内のいたる所にサービス拠点を設置。お客様ごとの使用状況や現場の声に応じたアフターサービスを提供しています。また、海外においても各地域できめ細やかなサポート体制を拡充しています。

## Sustainability

# すべての ステークホルダーから 信頼される企業に。

三菱ロジスネクストは、健全な事業活動を通じて、  
グローバルな視点での地球環境の保全、  
および、地域社会への貢献といった  
社会的責任を果たすとともに、  
ガバナンスの強化にも積極的に取り組むことで、  
企業としての価値の向上に努め、  
すべてのステークホルダーからの信頼に応える  
企業であり続けます。

### 【SDGsに対する基本方針】

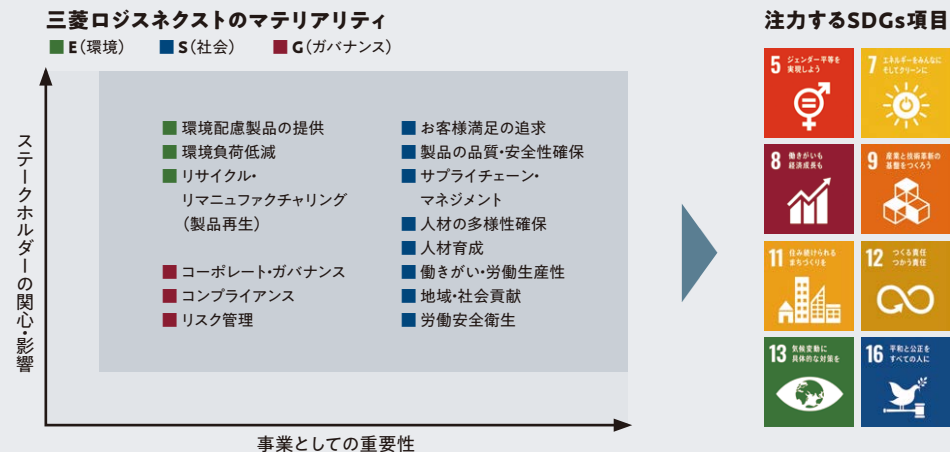
経営と一体化した取り組みとしてサステナビリティ活動を推進するため、  
企業理念をベースに「SDGs基本方針」を策定しています。

当社は、世界の物流シーンを支える総合物流機器メーカーとして、国連が提唱する「SDGs」に賛同し、  
事業活動を通じて社会的課題の解決を図り、地球・社会の持続的発展と未来創りに貢献します。

- |                               |                                                                          |
|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| <b>① 地球環境の保全</b>              | グローバルな視点で地球環境の保全に努めます。                                                   |
| <b>② 地域社会の発展</b>              | ステークホルダーと良好な関係を構築し、事業活動を通じて社会的課題の解決を図り、<br>地域社会の継続的な発展に貢献します。            |
| <b>③ 人材の育成</b>                | 従業員一人ひとりの人権、個性、創造性を尊重し、働きがいのある職場環境の提供と<br>個人の成長を支援し、グローバル社会を支える人材を育成します。 |
| <b>④ コーポレート・<br/>ガバナンスの強化</b> | 誠実かつ公正な事業活動を遂行し、企業としての社会的責任を果たすため、<br>実効性のあるコーポレート・ガバナンス体制を確立します。        |

### 【マテリアリティ(重要課題)の特定と注力するSDGs項目】

事業としての重要性とステークホルダーの関心・影響を考慮し、  
ESG活動に照らし合わせたマテリアリティ14項目を特定しています。  
また、これらに関係するSDGs8項目について特に注力し、  
事業活動を通じたSDGsの達成に貢献します。



※当社のサステナビリティへの取り組みはウェブサイトでもご覧いただけます。